

旭小学校

かわら版

学校通信

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令和2年4月8日号

ご進級・ご入学 おめでとうございます

新型コロナウイルス対策で例年と違った年度末でしたが、ようやく春らしい陽気となり新年度を迎えることができました。

そのような中、94名の新入生を迎え総勢612名の子どもたちで旭小学校の令和2年度がスタートしました。職員一同「学校教育目標」や「目指す児童像」の実現に向け子どもたち一人一人の良さや可能性を伸ばす教育をすすめていきます。今年度もよろしく願いいたします。

学校教育目標

新たなことに挑戦する心と自ら学び、考え、実践できる力を育て、豊かな心を持ち、他者との共存を図りつつ、意欲をもって主体的に生きる人間の育成をめざす。

○かしこい子 ○やさしい子 ○たくましい子

年度末人事異動の報告

個人情報保護の観点から掲載しません。

4月1日の各紙人事異動号をご覧ください。

< 学校を去られた教職員 > (敬称略)

< 新しく迎えた教職員 >

～ 始業式のあいさつ～

□ 「いつも笑顔で元気です」と言える子

最初にこの一年，というよりも，できればずーっとおぼえておいてほしい言葉があります。それは，

「いつも笑顔（えがお）で元気（げんき）です」

と自分から言えるということです。

毎日学校へ来ているとたのしいこともあれば，つまらない，つらいことだって，思い通りにならないことだってありますよね。でも，そんなとき，つまらなそうなくらい顔をしていても，うまくいくようになることは少ないです。むしろ，ますます気分がわるくなってしまいます。

そんなときこそ「いつも笑顔で元気です」を忘れずにいると，うまくいくかも知れません。この一年，ぜひ笑顔と元気を忘れずにいてください。

□ 自分のすばらしさを発見してほしい

みんなが笑顔で元気になるように，お願いしたいことのもうひとつは，

「自分のすばらしさをどんどん発見（はっけん）する」

ことです。一人一人がきっとほかの人とはちがった〈すばらしさ〉をもっているはずです。ほかの人とくらべてとか，テストの点数が何点だったか，などということだけでなく，心のそこから「自分って，すばらしいなあ」と思える人が，きっと一番しあわせな人です。また，自分のすばらしさが分かると友だちのすばらしさや大切さも，もっとよく分かってきます。みなさんがそんな〈すばらしさ〉を発見するのをお手つだいするのが，この先生たちの仕事だと思います。

□ ピンチはチャンス

コロナウイルスのため突然の休校など予想していなかった出来事が起こり，驚いていることかと思えます。しかし，人生には予期しないことに出会うのが普通です。思ってもいなかったことに出会う時どうするかが“知恵（かしこさ）”だと思います。

今から350年ほど昔，今と同じようにヨーロッパでペストという病気が大流行しました。この頃現代科学を支える重要な発見をしたニュートンという人がいました。ペストのため大学も閉じられましたが，その時教授になったばかりのニュートンは感染を避けていなかで農場を手伝いながら1年半過ごしました。大学の仕事から解放されたこの時期に，たくさんのアイディアについて研究を行いました。ニュートンの三代業績と言われるものは，このときに形作られました。彼は後にこの時期を「創造的休暇」と呼んでいます。

願いどおりに行かない時こそ，むしろチャンス

新しい学年，新しいクラスです。せっかくなら，気持ちよくスタートしたいです。不安な気持ちは今日だけにして，お互いの良いところ，今から，いっぱい見つけていきましょう。（放送による始業式のため一部だけお話ししました）